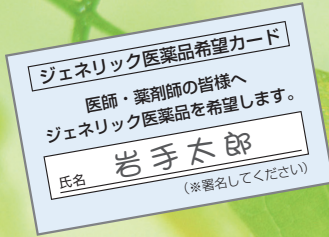


家計にやさしいお薬

ジェネリック医薬品



医療費が年々増加するなかで、将来にわたり安心して医療を受けるために、国民みんなで医療費を上手に節約していくことが求められています。

先発医薬品に比べて価格の安いジェネリック医薬品（後発医薬品）を使うと、患者さんの自己負担を軽減（家計の負担を軽減）することができ、さらに医療費の節減につながります。

医師や薬剤師と相談しながら、ジェネリック医薬品を上手に取り入れてみませんか。

Q ジェネリック医薬品ってどういう薬？



A ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、先発医薬品の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同等の効き目のある医薬品のことです。

一般的に、医薬品の開発には多額の費用がかかりますが、開発期間が短くてすむジェネリック医薬品は開発費用が安く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。

※価格は品目ごとに様々ですが、先発医薬品の半額以下の薬もあります。

Q 安全性と品質は大丈夫？



A ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきた薬（先発医薬品）と同等と確認されたうえで製造・販売が認められています。

国では、ジェネリック医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかについて、欧米と同様の基準で審査を行っています。なお、薬の形、色や味は、先発医薬品と異なる場合があります。

このミシン目から切り離してお使いください↓

医師や薬剤師と相談しながら、上手にジェネリック医薬品を使いましょう。

相談するのが難しいときは、右のジェネリック医薬品希望カードを使ってみましょう。

ジェネリック医薬品希望カード

医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を希望します。

氏名

(※署名してください)

ジェネリック医薬品希望カードの使い方

希望カードは、このチラシの下を切り取ってお使いください。

病院・診療所で

医師に診察を受けているときに、
カードを提示する。



処方せんの「処方」欄左側の「変更不可」欄に「✓」または「×」がない薬は、ジェネリック医薬品に変更できます。

薬局で

薬剤師にカードを提示する。



自分の服用する薬について、気軽に相談できるかかりつけの薬局、薬剤師をもちましょう。

注意

薬を切り替えた後は、体の変化をチェックして、何か変わったことに気づいたら、すぐに医師や薬剤師に相談しましょう。

※希望しても、対応するジェネリック医薬品が製造、販売されていないものがあります。

※在庫がない場合は、薬を用意するのに時間がかかる場合があります。

※医薬品の価格が下がっても、患者さんのご負担は新薬使用時と変わらないか、上がることがあります。薬剤師とよく相談してください。

薬の記録は「お薬手帳」に

今までに、自分が飲んだり使ったりした薬の名前や飲み方・使い方、薬の量のほか、過去の病気や薬に対するアレルギー・副作用等を記録するのが「お薬手帳」です。この「お薬手帳」を医師や薬剤師に見せることによって、薬の重複や相互作用・副作用を防ぐことができます。

※「お薬手帳」は、かかりつけの薬局等で調剤を受けたときにもらうことができ、その都度記載してくれます。

- 病院にかかるときや薬局に行ったときは、毎回「お薬手帳」を見せましょう。
- 薬局、薬店で薬を買ったときも、記録しましょう。
- 大切な薬の記録として、外出の時や災害時などの非常時にも携行しましょう。

↓このミシン目から切り離してお使いください

医師・薬剤師の皆様へ

このカードは、ご本人がジェネリック医薬品の処方・調剤を希望する場合に、提示いたします。ジェネリック医薬品に関するご相談に、対応をお願いします。

お問い合わせ先

岩手県後期高齢者医療広域連合

〒020-8510 岩手県盛岡市山王町4-1

☎ 019-606-7507

〈監修〉岩手県薬剤師会 会営くすりの情報センター
〈参考資料〉日本ジェネリック医薬品学会
「かんじゃさんの薬箱」<http://www.jeneric.gr.jp/>